

# しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

- 生活安定を支援する生活福祉資金貸付制度
- 生活支援コーディネーターウォーキングマップ
- 北海道胆振東部地震災害  
～安平町災害ボランティアセンターでの活動～
- ボランティア愛ランド北海道2018inおたる
- 歳末たすけあい募金へのお願い
- ニュース&トピックス「トライベツ大収穫祭」ほか



10月24日、北海道立厚岸翔洋高等学校のボランティア部員が、イオン厚岸店の正面入り口で、赤い羽根共同募金の街頭募金運動を行いました。

# 生活安定を支援する 生活福祉資金貸付制度



## ■生活福祉資金貸付制度とは？

生活福祉資金制度とは、他の貸付制度が利用できない「低所得者世帯」「障がい者世帯」「高齢者世帯」に対し、資金の貸付けと必要な相談・支援により、経済的な自立と生活の安定を目指すことを目的としています。

この貸付制度は、厚生労働省の要綱に基づき実施しています。『世帯』を対象に貸付しており、世帯の年間収入により貸付対象外となる場合があります。

## ■借りるための基本要件

借りるために、次の基本要件が5つあります。

### ①世帯としての貸付

「個人」ではなく「世帯」に対して貸付するものであり、会社や団体に対する貸付は行っていません。

### ②連帯保証人が必要

原則として連帯保証人が必要です。ただし、連帯保証人を立てられない場合でも貸付は可能ですが、その場合は貸付利子が発生します。

### 【連帯保証人の条件】

- ・厚岸町に居住している方
- ・町民税が課税されている方
- ・連帯保証人として債務を履行できる方

### ③民生委員の相談支援を受ける

この制度は、民生委員の相談支援が前提となっています。貸付申込、申請する際に民生委員との面談を行い、また貸付決定後にも定期的に償還状況の確認などで民生委員が関わります。

### ④他制度の優先

他の公的貸付制度が利用可能な場合は、そちらの制度が優先されます。

### ⑤事後申請は貸付対象外

事後申請（購入・支払い済みの経費）は貸付対象となりません。（自己資金により対応可能であったと判断します。）

## 生活福祉資金の種類と内容

### ■総合支援資金

失業等で日常生活全般に困難を抱え、生活の立て直しのために生活費が必要な世帯に貸付。

○生活支援費…生活再建までに必要な生活費用

○住宅入居費…賃貸契約に係る費用（敷金など）

○一時生活再建費…生活再建するために一時的に必要で、生活費で賄うことが困難である費用

### ■福祉資金

低所得者、障がい者、高齢者の世帯に対し、日常生活を送る上で一時的に必要であると見込まれる費用について貸付。

#### ○福祉費

生業費・技能習得経費・住宅経費・福祉用具購入経費・障害者用自動車購入経費・中国残留邦人等の国民年金保険料追納経費・療養関係経費・介護サービス関係経費・災害経費・冠婚葬

祭経費・住居移転設備経費・就職等の支度関係経費・その他生活で一時的に必要な経費

#### ○緊急小口資金

緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった場合の生活費などを貸付。

### ■教育支援資金

学校等の就学に際し必要な経費を貸付。

#### ○就学支度費

学校教育法に定める学校への入学準備に必要な経費（入学金等入学時に学校に納入する経費）について貸付。

#### ○教育支援費

学校教育法に定める学校へ就学するための経費（授業料・学校納入諸経費など）について貸付。

### ■不動産担保型生活資金

生活保護を受給されている高齢者世帯が対象で、居住用不動産を担保に生活資金を貸付。

## ■借入の流れ

① 申込者は社協または居住地区の民生委員へ相談する。

② 借入対象と判断された場合は、社協より申請書類等を受取り、民生委員と面談を行う。民生委員は調査書を作成する。

③ 申込者は申請書類を社協に提出する。

④ 社協は状況に応じて、自立支援相談機関に相談する。

⑤ 道社協へ申請書類を提出し、貸付審査の決定を待つ。

⑥ 道社協は申込者へ貸付決定通知を送付する。

⑦ 申込者は道社協へ借用書を提出する。

⑧ 道社協は借用書を受領後、貸付金を交付する。

⑨ 据え置き期間の後、償還（返還）を開始する。



## ■償還（返還）の留意事項

・世帯の生活状況などにより償還期間を調整することができます。ただし、償還開始月や当初に最長の償還期間を設定していた場合はできません。

・教育支援資金は、就学する子どもが借受人となり、生計中心者は

連帯借受人となります。この場合は連帯保証人を設定せずに貸付できますが、債務整理等で連帯借受人となり得ない場合は、連帯保証人が必要です。

なお、その学校に入学しなかった場合は、即時一括償還となります。

## 厚岸町社協の貸付金制度「低所得者資金」について

### ■低所得者資金とは

厚岸町社協では、独自の貸付金制度を利用し、町内在住の生活保護世帯や低所得者世帯に対し、借受人の生活向上と意欲の助長促進を図るために無利子で貸付を行っています。

### ■資金の内容

- ・貸付限度額…5万円
- ・貸付利息…無利子
- ・貸付方法…現金一括
- ・返済方法…措置期間経過後2年以内に返済
- ・連帯保証人…原則として必要です。

### ■借入方法

面接での相談としていますので、まずは電話で連絡ください。

### ■借入の際の注意事項

- ・連帯保証人を立てられない場合は貸付できません。
- ・返済完了後、6ヵ月間は貸付できません。
- ・申請時、民生委員との面談が必要です。

### ■問合わせ先

厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉協議会 総務地域課：杉本

電話 52-7752

# 生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ



## ■お茶会してますか？

皆さんの周りでは、ご近所付き合いありますか？  
「もちろんあるよ～」と言う方も多いと思いますが、  
引っ越しをしたり家族関係の変化などで、今はして  
いないという方も少なくないと思います。

そんな中、今も昔も変わらずお茶やお菓子を囲んで、  
数人で集まっているそのあなた！！『私をお  
茶会に誘ってくれませんか？』

人数や回数に関係なく、みなさんが普段行っている  
お茶会が地域の「サロン」活動であり、大切な資  
源です。みなさんの暮らしでの楽しみや、こんな事  
あったらいいなという想いを形にできたと考えていま  
す。

『今日やるよ』のお誘いでもOKです。みなさん  
のお誘いを、心よりお待ちしております！

## ■お邪魔しました！

普段、地域食堂を開催しているTさん。冬季間は  
自宅を開放し、1人暮らしの高齢者を招待して昼食  
を提供しています。

Tさん宅に到着し、広い土間から家の上がると、  
10数名の方が私のために残っていてくれました  
(普段はもう帰っている時間でした)。待っていて  
くれたお礼に手を使った簡単なレクリエーションを  
行くと、皆さんとても喜んでくれました。また、お  
邪魔します♪



(写真) 昼食後はおしゃべりタイム

## コーディネーターのひとりごと

■生活支援コーディネーターとして活動し始めて7カ月。ありがたい事に  
先月、厚岸町の広報誌で活動を紹介していただきました。恥ずかしながら  
顔写真と年齢が掲載され、「広報みたよ！」と声をかけられることも！広報  
誌の力って大きいんだな～と感じました。

地域の困りごとの相談はもちろん「こんな事あったよ！」と気軽に声を  
掛けていただくような存在になりたい柏木でした。



## 《問合せ先》

厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 担当：柏木（生活支援コーディネーター）

TEL 52-7752 FAX 52-6044

## ■災害発生～ ～ボランティアセンターの設置

平成30年9月6日早朝、北海道胆振東部地方を中心とした大規模な地震が発生し、主に厚真町、安平町、むかわ町の3町に甚大な被害を及ぼし、北海道全体でも『ブラックアウト現象』による全道的な停電が発生しました。

北海道社会福祉協議会では、災害救援本部を設置し、北海道ボランティアセンターを中心に被災地支援にあたりました。これを受け、厚岸町社会福祉協議会では、9月24日～28日まで、安平町災害ボランティアセンター運営支援のために職員1名を派遣しました。



## ■安平町の概要 ～派遣時のセンターの状況

安平町は、勇払平野から夕張山地等へと続く丘陵地で、南西は遠浅川で苫小牧市と隔てられ、北西は千歳市、北から東へは由仁町、南東は厚真町に接している山間の町で、平成18年に早来町と追分町が合併し、安平町となりました。

災害ボランティアセンターは、早来地区にあり、周辺家屋も被害が多くみられた地域でした。派遣時は、災害発生から2週間が経過し、災害ボランティアセンターに寄せられるニーズ（要望）も変化が開始、家電製品の収集など柔軟な対応が求められる時期でもありました。

## ■センターの活動内容 ～マッチング班

センターの活動は「総務班」「ボランティア受付班」「資材管理班」「ニーズ班」「マッチング班」に分かれて活動し、私が担当したマッチング班では、支援してほしい方と、活動する方をマッチング。行政等から依頼されているニーズに対してボランティアさんを配置することに加え、日々のボランティア活動件数等の調整やボランティアさんの後方支援など多岐に渡りました。

## ■派遣で感じた事 ～ボランティアの姿

めまぐるしく過ぎていく一日の中で印象的だったのは、がれきの除去や家財道具の移動や撤去など、かなりの重労働にも関わらず、活動終了時のボランティアさんのすがすがしい笑顔です。疲れているはずなのに・・・そのボランタリー精神には本当に脱帽でした。

私たちは、活動する方やそれを必要としている方に何ができるのだろうと考えながら支援にあたり、試行錯誤の5日間でしたが、まだ被災地では、復興に向け歩み続けています。復興支援には色々な形があるので、どんな形であれ、この先も支援し続けていきたいと考えています。



(写真) マッチングの様子

北海道胆振東部地震災害  
安平町災害ボランティアセンターでの活動

# ボランティア愛ランド 北海道2018 inおたる

～今、求められるボランティア～

去る、10月21日（日）小樽市において、全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一堂に集い、ボランティア活動の課題検討や仲間づくりボランティア活動の推進を目的として開催されました。

厚岸町からは、2名のボランティア実践者が参加し、講演後の分科会では、レクリエーションを体験しました。今回参加した方に感想を聞きしました！

■紅葉を眺めながら一路小樽へ。ボランティア愛ランド北海道2018inおたるに参加しました。

会場は大勢の人々の熱気に溢れ、受賞10団体の授賞式後の講演では、1人の女性が諦めず挑戦し続けた、その気持ちの持ち方に耳を傾けました。その後、質疑も途切れることなく続き、信念の強さも感じました。

テーマの「今、求められるボランティア」について感じる事は、ボランティアに対する考え方や姿勢はそれぞれであっても、行動に移す姿勢は『形ではなく寄りそう心が大切で、想いや行動が笑顔にする』と実感しました。

今回は、参加する機会をいただけた事に感謝します。（70代女性の参加者）

■全道各地から多数の参加があった「ボランティア愛ランド」へ参加させていただきました。

内容は、授賞式・講演会・分科会で、私達は「もっと素敵にレクリエーション」の分科会に参加しました。講師は「今日のレクリエーションは、会場入り口で皆さんの顔や様子を観察しながら決めました」と挨拶。参加者の雰囲気と状況を判断し、その場に適した内容を選択する

難しさや重要性を感じました。その後、講師の掛け声で手先や身体、歌と言葉を組み合わせ「脳の活性化と笑い」を交えたレクリエーションで、会場の皆さんと一緒に楽しみました。

この研修では、各地域で多様な活動を地道に継続し、その活動を通じて生きがいを取り戻し社会参加する様子を知ることができました。

今後、自分達の地域で、どのような活動が求められているかを改めて考える機会に出会えたと感謝しています。（70代女性の参加者）



（写真）身体を使ったレクリエーションは、自然と笑顔がこぼれます

## 社会福祉センターに自動血圧計を設置しました

湖南地区でも気軽に健康チェックができるようにと、厚岸町からの備品提供で社会福祉センターに自動血圧計を設置しました。

この自動血圧計の購入にあたっては、大地みらい信用金庫創業

100周年記念寄付金が活用されています。

多くの皆さんに使ってもらえるよう、正面玄関ロビーに常設していますので、毎日の健康チェックなどにお気軽に活用ください。



# 歳末たすけあい募金へのお願い

活動期間 12月1日～12月31日

募金目標額 145,000円

本年も12月1日から全国一斉に「歳末たすけあい運動」が行われます。この運動は、新たな年を迎えるこの時期に支援を必要とする人たちが「地域で安心して暮らすことができるように…」という願いで行われています。みなさんから寄せられた募金は、町内で在宅の重度障がいをお持ちの方に見舞金として手渡されます。みなさんからのあたたかい「おもいやり」をぜひ、「歳末たすけあい募金」にお寄せください。

【平成29年度の実績】

内訳	件数	贈呈額
在宅重度障害者	37件	185,000円

- ◆募金方法 社会福祉センター窓口へ直接お持ちください
- ◆受付期間 12月1日～12月28日
- ◆その他 募金は税制上の優遇措置の対象となります



## みなさんから寄せられた災害義援金を送金しました

厚岸町共同募金委員会では、災害により被害を受けられた方々を支援するため災害義援金の協力をお願いしていました。集まった義援金額は『大阪

府北部地震義援金』20,590円、『米原市竜巻災害義援金』5,428円で、全額を北海道共同募金会へ送金しました。この義援金は、各配分委員会を通して全額被災地

へ届けられます。

なお、『7月豪雨災害義援金』と『北海道胆振東部地震義援金』は引き続き募集していますので協力をお願いします。



## 『赤い羽根共同募金運動』街頭募金を行いました

### イオン厚岸店

10月24日、翔洋高校ボランティア部のみなさんに協力いただき、悪天候にも関わらず、町民のみなさんから14,045円の募金が集まりました。

### あつけし牡蠣まつり会場

10月7日、役員及び助成を受けている福祉団体のみなさんに協力いただき、天候にも恵まれ、観光客のみなさんから13,869円の募金が集まりました。



じよんの町を良くするしくみ。  
赤い羽根共同募金



問い合わせ先：厚岸町共同募金委員会 事務局  
社会福祉センター ☎52-7752

# [ニュース&トピックス] NEWS & TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]巨大カボチャは大人が抱えてもかなりの重量！

[下]男性優勝：竹内孝一さん(写真左)、女性優勝：岩谷博子さん(写真右から2人目)



[上]講師の指導のもと、シナプソロジーを体験する参加者

## 一番重いカボチャはどれかな？ トライベツ大収穫祭

10月6日、『トライベツ大収穫祭・敬老会』がトライベツ集会所で開催されました。

会場は、赤ちゃんから高齢者まで世代を問わず集まっておりとても賑やか。『大』収穫祭と言うだけあって、会場には沢山の新鮮な野菜が並べられています。その中には、抱えられないくらい大きな『お化けかぼちゃ』が10数個置いてあり、これは一番重いものから順位を当てる恒例の順位当てクイズのかぼちゃです。今年はなんと全順位を当てた参加者が！会場は大盛り上がり！

昼食には、具沢山の豚汁とおにぎり、デザートにはおしるこが提供され、食後に始まった野菜などのオークションも大盛況。皆さんの笑顔が絶えない一日となりました。

## 晴れてよかった！ 赤い羽根チャリティパークゴルフ大会

10月8日に宮園運動公園で『赤い羽根チャリティパークゴルフ大会』を開催しました。

この大会は町民の身近なスポーツである「パークゴルフ」を通じて赤い羽根のPRと、プレーを楽しみながら募金協力することを目的としています。

当日は、男女合わせて41名の参加で、46,598円の募金が集まりました。

〈成績は次のとおり（敬称略）〉

【男性】優勝：竹内孝一、準優勝：竹中喜之、3位：高島一彰、4位：藤田稔、5位：日浦静

【女性】優勝：岩谷博子、準優勝：村上美代子、3位：藤田秀子、4位：佐斉栄美子、5位：平元光子

## 老人クラブ会員の交流 釧老連会員リーダー研修会

10月16日、釧路市阿寒湖温泉「ニュー阿寒ホテル」で、釧路地区老人クラブ連合会会員リーダー研修会が開催され、会員13名が参加しました。

この研修会は、元気な高齢者が活気ある老人クラブ活動づくりを進めるためのさまざまな知識、技術を学ぶとともに、会員同士の交流を目的に、釧路地区の町村老人クラブ会員を対象に、毎年開催されています。

今年度は、健康づくり、介護予防に関する事業を実施している特定非営利活動法人「グルスの杜あかん」の職員による活動報告や、参加者は、「3で止まる手拍子」、「後出しじゃんけん」などの脳機能向上を目的としたシナプソロジーの体験を楽しみました。



[上]お揃いのハッピーを纏い豚汁を作る尾幌婦人防火クラブの会員たち

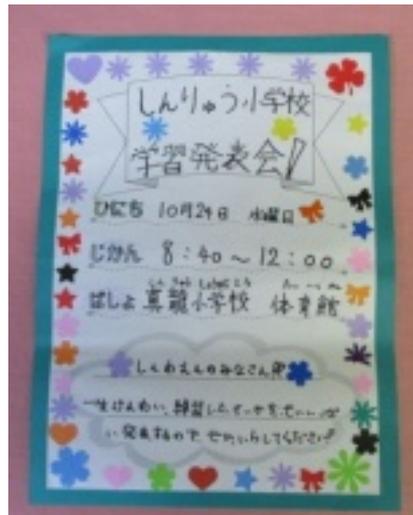
## 150食の豚汁を提供 総合防災訓練で炊き出し

厚岸町総合防災訓練が行われた10月20日、旧真龍中学校では、第2部の関係機関総合連携訓練が実施され、社会福祉協議会と尾幌婦人防火クラブは、共同で炊き出し訓練を行いました。

同クラブからは8名の会員が協力。何度も繰り返し訓練している会員たちは、尾幌酪農ふれあい館での下ごしらえから現地での調理と、150食分の豚汁を1時間あまりで作りました。出来上がった豚汁は、会場に来ていた皆さんに振る舞い、あっという間に大きな釜がすべて空っぽになりました。

当会では、いざという時、地域でスムーズ炊き出しができるよう、職員が地域に出向き指導する取り組みも行っていますので、興味のある方は相談ください。

[下]心和園に届いた小学生からのあったかい手書きの案内状



## 手作りの案内状が届いて 真龍小学校学習発表会総練習の観覧

10月24日、真龍小学校児童による学習発表会総練習に、心和園の入所者4名が参加、観覧させていただきました。

児童の皆様による心のこもった手書きの案内文、また発表プログラムを事前にいただき、楽しみにしていた入所者が参加しました。

厚岸町の未来を担う、小学校児童の学習発表会で努力する姿、元気な姿に、参加した心和園の入所者も「生きる活力をもらった」、「未来に希望をもてた」と大変喜ばれていました。感動して涙を流している入所者もいました。

真龍小学校の児童の皆様、先生方、また父兄の皆様にはこのような機会を用意していただきましたことを改めて感謝申し上げます。

[下]説明を受けながら点字体験をする参加者



## 障がいへの理解を深める 真障害者(児)ふれあいフェスティバルこう福祉21

10月28日、社会福祉センターで厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」が、福祉団体やボランティアの協力のもと、盛大に開かれました。

参加者は、障害に関わりのある活動を紹介する「ポスターセッション」、団体の取組みを発表する「福祉壇上発表」、視覚障害の疑似体験や手話を学ぶコーナー、バンド演奏、寸劇など、さまざまなイベントを通して、障がいへの理解を深めました。

昼食は、災害時炊き出し実演で作ったカレーライスが提供され、真龍中学校生徒会ボランティアのみなさんは、喫茶コーナーでお茶やコーヒーを提供するなど、多くのボランティアが活躍しました。

## 社協の 掲示板

社協情報を  
お知らせする掲示板

### 寄付・寄贈ありがとうございます

社協に対し、下記のとおり寄贈がありました。  
皆さまの善意ありがとうございます。

(掲載は9月～11月分)

**【寄付金】 ▼一般寄付「村上秀則氏」追悼落語  
実行委員会108,377円(心和園に) ▼特別寄付  
(福祉基金) トライベツ自治会16,000円(収穫祭  
に際して)、佐藤武志さん26,715円**

**【寄贈品】 ▼心和園 古布／あやめグループ、  
ティッシュほか／上尾幌老盛クラブ、タオル・  
昆布／苫多婦人部**

#### ※寄付・寄贈の際には

寄付・寄贈を受ける際に、「だれのために」  
「どのような事業に」など、希望する使い道を  
確認させていただきます。

### 物品寄贈のお願い

特別養護老人ホーム心和園では、ショールーム  
トステイ利用者様の生活支援に役立て  
るために、次の物品を探しています。

- ・コーヒー用カップ
- ・コーヒー提供の際のおぼん  
(コーヒーマシンからテーブルまでコー  
ヒーを運ぶために使用します。)

会社やご家庭で新しく買い替えたり、  
不要になり処分する予定がありましたら、  
中古品でも構いませんので寄贈を  
お願いします。

なお、寄贈いただける場合につきま  
しては、こちらから伺うことも可能で  
すのでご連絡ください。

担当者：特別養護老人  
ホーム心和園  
生活相談員本庄まで  
(☎0153-52-6373)



### 私たちが社協で働いています。

施設業務課デイサービスセ  
ンターで勤務させていただ  
いております菅原珠子です。

私が介護の仕事に就いたき  
っかけは知人の紹介で何度か特  
別養護老人ホーム心和園で代  
替え介護員として仕事をさせ  
ていただいたことです。

平成3年の当デイサービス  
開所当初から23年間勤務し、  
平成26年4月から社会福祉協議

会に移行後、現在4年目を務  
めさせていただいております。

デイサービスの仕事は、利  
用者様の朝の送迎から帰宅ま  
までですが、私は明るく笑顔で  
迎え、1日を笑顔で送っていた  
だくことを目標としています。

今後もデイをご利用の皆様  
に楽しかったと言っていた  
けるようお役に立たせていた  
だきたいと考えています。



在宅老人デイサービスセン  
ター業務主任  
菅原 珠子

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2018.12/No. 166【編集】広報委員会(以下、委員)米内山紘輝、中野絹恵、柏木由起子、杉本裕樹、山城美奈子、河合宏美、本庄祐長、小笠原晶子

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会  
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地  
厚岸町社会福祉センター内  
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044  
mail info@akkeshishakyo.or.jp/